



今治市朝倉地域の汚水処理施設統廃合計画

愛媛県今治市



■ 市の沿革

平成17年1月に12市町村(今治市、朝倉村、玉川町、大西町、菊間町、波方町、吉海町、宮窪町、伯方町、上浦町、大三島町、関前村)が合併し、新今治市が誕生しました。

■ 地 勢

今治市は、総面積419.13km²(平成26年10月1日国土地理院調)、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海のほぼ中央部に突出した 高縄半島の東半分を占める陸地部と、世界有数の多島美を誇る大小およそ100の島々で形成される島嶼部から構成されています。

■ 人口の推移(国勢調査)

平成17年度	173,983人
平成22年度	166,532人
平成27年度	158,114人(速報値)



■ 主なまちの産業

(海運業及び造船業)

今治市は、瀬戸内の海上交通の要衝として古くから海運業が発達してきました。海運業の繁栄により、各種船舶を建造する造船業も盛んです。市内には14の造船所があり、また、西日本唯一の国際海事展「バリシップ」が隔年で開催されるなど、世界に向けて海事都市今治を発信しています。

(繊維産業)

今治市はタオルや縫製品などの繊維産業も盛んで、特にタオルの生産は、年間の生産量が約1万1千トン、全国の約6割のシェアを誇っています。平成18年度からは、四国タオル工業組合と今治市、愛媛県、今治商工会議所など、地域一体となって「今治タオル」ブランド化に取り組んでおり、高品質を誇る「今治タオル」は、国内のみならず海外からも高い評価を得ています。



■ 主な観光名所

- ・ 大山祇神社(日本総鎮守と呼ばれ、全国に一万社あまりの分社を持つ神社。拝殿・本殿が国の重要文化財に指定)
- ・ しまなみ海道(広島県尾道市から今治市までを結んだ西瀬戸自動車道。風光明媚な景色の中をウォーキングやサイクリングをして楽しむことが可能となっている。また、高速道路を規制してサイクリング大会が実施される。国内外から3,500人が参加。サイクリングの聖地と呼ばれている。)
- ・ 亀老山展望公園(来島海峡が一望できる景勝地)



大山祇神社



亀老山展望公園からの景色



サイクリング大会

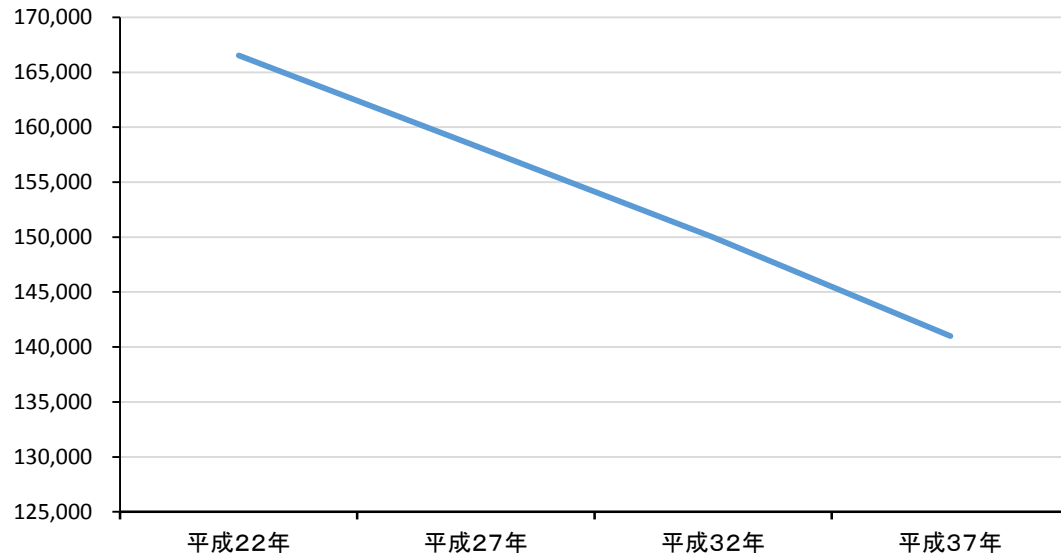
将来推計人口

(単位:人)

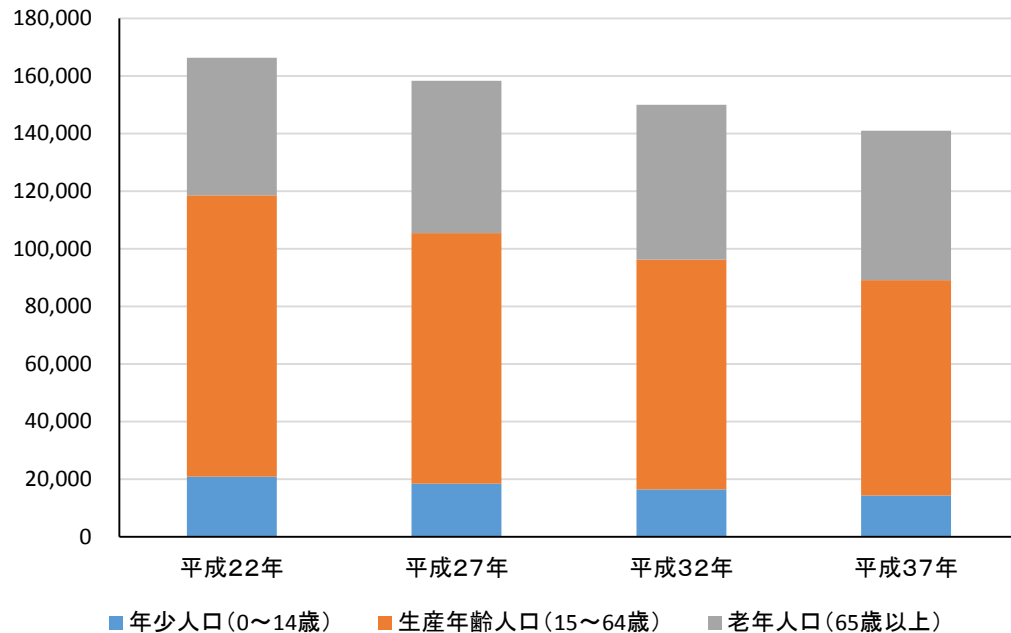
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総人口	166,532	158,300	150,000	141,000
年少人口(0~14歳)	20,842	18,500	16,400	14,300
生産年齢人口(15~64歳)	97,664	86,900	79,800	74,800
老年人口(65歳以上)	47,792	52,900	53,800	51,900

(100人未満四捨五入、平成22年は国勢調査の実績)

総人口

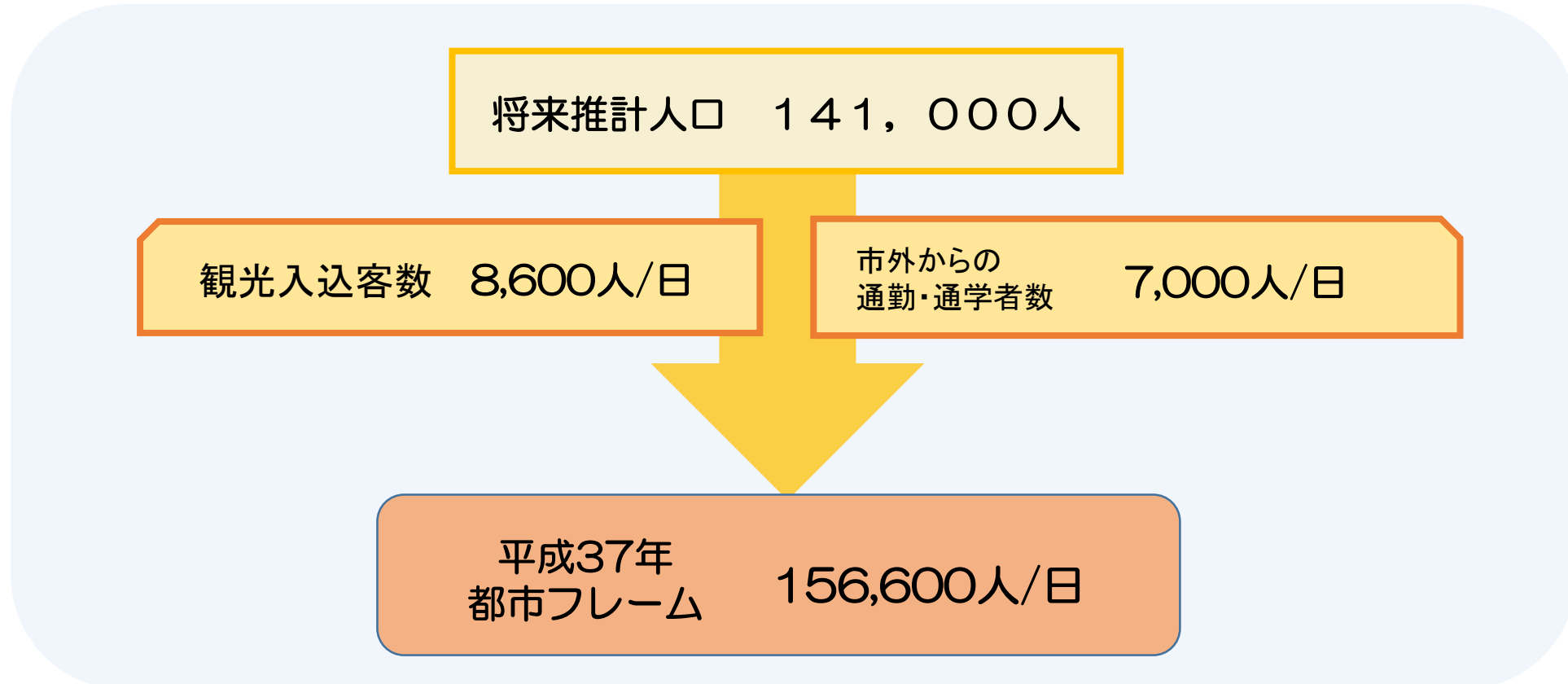


出典:第2次今治市総合計画



想定する都市フレーム

今治市では、将来推計人口と観光入込客数や市外からの通勤・通学者数を併せた156,600人を平成37年の都市フレームとしています。



※都市フレームとは計画的なまちづくりを進めるために将来の都市の規模を想定した基本的な指標となるもの。

出典：第2次今治市総合計画

財政指標の推移

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
経常収支比率	89.7	85.5	90.8	91.0	86.3	90.8	89.2
財政力指数 (3か年平均)	0.59	0.58	0.59	0.58	0.58	0.58	0.57
実質公債費比率	15.7	14.7	14.6	14.2	13.9	13.0	12.8
将来負担比率	106.5	86.4	77.9	63.7	47.1	40.2	24.2

- ①経常収支比率:財政構造の弾力性を示す指数。経常一般財源総額(収入)に対する経常経費に充当された一般財源の比率。
- ②財政力指数:地方公共団体の財政力を示す指数。数値が高いほど、自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるとされる。
- ③実質公債費比率:市全体の会計に加え、一部事務組合や地方債の返済額も含めたものの割合。
- ④将来負担比率:市全体の会計に加え、一部事務組合や第三セクターも含めた将来負担。